

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1748号	氏名	石井 辰洋
論文審査担当者		主査教授	由井 克之
		副査教授	上平 憲
		副査教授	永安 武

論文審査の結果の要旨

1. 研究目的の評価

本研究は、ラット肝移植自然生着モデルを用い、免疫寛容導入期における CD4⁺ T 細胞の免疫制御機能を明らかにしようとしたもので、目的は妥当である。

2. 研究手法に関する評価

ラットの肝移植自然生着のユニークな実験モデルを用い、*in vivo* 実験を中心に CD4⁺ T 細胞の抑制機能を明らかにしており、評価できる。

3. 解析・考察の評価

移植肝に対するレシピエント CD4⁺ T 細胞の反応は、拒絶反応を促進する場合と抑制する場合との両面性を有することを明らかにした。さらに、免疫寛容導入期における抑制性 CD4⁺ T 細胞の役割を明らかにしており、移植臓器に対する拒絶反応抑制に向けて今後の発展が期待できる。

以上のように、本論文は移植医療科学の発展に貢献するところ大であり、審査員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。